

ブロンド

TETES BYZANTINES, *Blonde*



ブロンド(金髪)女性の伏し目がちで優美な横顔を描いた異国趣味的作品。ビザンティン(東ローマ)帝国の格式高い美術様式とエジプト美術とを融合させたかのような衣装や髪飾りのデザイン(意匠的表現)に、ミュシャの創造力が感じられる作品。植物模様彫刻風装飾仕立てのホワイトフレームが作品を引き立たせます。

アルフォンス・ミュシャ

- 1860 チェコに生まれる
- 1879 ウィーンの舞台美術工房で働きながら絵画を学ぶ
- 1887 パリに出てアカデミー・ジュリアンに通う
- 1894 サラ・ベルナールの舞台「ジスモンダ」のポスターを手掛ける
この仕事により一躍有名になる
- 1896 「黄道十二宮 *Zodiac*」制作
- 1897 「TETES BYZANTINES *ブロンド*」制作
- 1900 パリ万博にてボスニア・ヘルツェゴヴィナ館を担当
- 1901 レジオン・ドヌール勲章授章
- 1931 プラハの聖ヴィタ大聖堂のステンドグラスを制作
- 1939 母国のプラハにて逝去

*ミュシャの描く女性像は優美で美しく気品があります。流麗な植物的曲線を多用して描かれた作品の魅力は、今なお人々を魅了し続け、アールヌーボー芸術を代表する絵師(モダングラフィックデザインの先駆者)として、世界中から高く評価されています。

ArtOffice Cloud8



アルフォンス・ミュシャ

Alphonse Mucha

黄道十二宮

Zodiac



ブロンド

TETES BYZANTINES,

Blonde



ジクレー版画

Giclee de Graphic

黄道十二宮 Zodiac



智の天使・ケルビムの美しい横顔。画面上部には不滅のシンボル月桂樹。天使の背後には、黄道(1年間の太陽の軌跡が天空に描く円)上に星座を配して「時間」と「空間」を表現した、スピリチュアルな魅力を香らせる作品。アンティークモダン風の木製額をコーディネートしました。



〜framing〜

☞ シート右下に限定番号が記入されています

[1〜88/88]

※88部限定制作です

☞ マット下部中央には画題と作家名が刻まれたミュージアムキャプション風の重厚感のあるメタリックプレートが付けられています。

[二本のカットライン入り的高级紙マット使用]



☞ 「ブロンド」には植物模様の装飾が施された木製白額が付きま



☞ 「黄道十二宮」には古色渋金仕上げのアンティークモダン風フレームが付けられ、作品の持つ独特な世界観を引き立てます

▶ 落下防止ロック付きの絵画専用壁掛けフックが付属しており、購入したその日から作品を壁に掛けてお楽しみいただけます。☞

[※木壁、石こうボード、どちらにも対応]



Interior
image



Specification details of works

作品仕様詳細

本紙： 特殊加工高級版画用紙(モロー紙)
額縁： 木製/画面-高品質アクリル仕様
マット： 紙製2mm厚/2本線(溝カット)加工
限定： 各88部限定制作
付属品 吊るし紐 / 紙かぶせ箱
壁掛け用セーフティフック1個

題名	黄道十二宮	ブロンド
価格(税別)	¥52,000	¥52,000
画寸cm	縦22.9 × 横16.7	縦23.2 × 横16.1
紙寸cm	縦33.5 × 横24.5	縦33.5 × 横24.5
額寸cm	縦×横×厚さ 41.5 × 35.5 × 2.2	縦×横×厚さ 39.7 × 32.5 × 2.4
額重量Kg	1.2 (概算)	1.1 (概算)
額縁 (木製)	アンティークモダン調渋金フレーム	植物模様装飾付 木製白色フレーム

■ 版画工房：Image Factory Nest / Tokyo, Japan
プロの色彩調整師の技と現代最先端の技術で、絵画の様々な表現を瑞々しくリアルに版画として再現するイメージファクトリーネスト工房による制作。

■ 技法：ジクレー版画 (GICLEE DE GRAPHIC)

原画の画像をデジタルに変換し、スクリーンを使用せず、特製インクをダイレクトに版画紙に吹き付けて制作します。ジクレーとはフランス語で「インクの吹き付け」を意味します。最先端の技術、顔料系インク(長期耐光性)、高級版画用紙を使用することで、より広い色彩再現領域を実現し、あらゆる絵画表現において優れた仕上がりを得ることができる現代の版画技法です。